

「刊行に当たって」

”明日のTOKYO“ 作文コンクールは、一般財団法人東京都人材支援事業団が実施する公益事業の一環として、都内在住又は在学の中学生を対象に毎年実施しており、三十二回目を迎えました。

今回は、「身近な東京の食を振り返る」というテーマで募集を行ったところ、五、三二二編と多くの応募をいただきました。東京には地域の特性を活かした新鮮で安全・安心な農産物や水産物があります。その一方で、食品ロスやライフスタイルの多様化に伴う栄養バランスの偏りなど、「食」には多くの課題も存在します。すべての人が「食」を理解し、大切にしていくことで、様々な課題の解決につながる可能性があります。特に、未来を切り拓く中学生の皆さんには、身近な食を振り返り、これからの「食」をどう創造していくのか自分自身で深く考えて欲しいと思います。

そこで、食を取り巻く様々な問題への関心を高めるとともに、東京の食文化の魅力を再発見していただきたいという趣旨のもと、今回のテーマを設定しました。

皆さん一人ひとりが東京の食の魅力と課題について、若い感性のもと自分自身の考えをそれぞれに工夫を凝らして表現していただき、大変感銘を受けるとともに、頼もしく感じました。これからも、皆さんがこの作文を書く中で感じた思いを胸に、東京の食文化に対する関心を深め、将来に活かしていただきたいと思っています。

この作品集は、皆さんから寄せられた数多くの素晴らしい作品の中から、受賞された二十一編の作品を掲載したものです。これらの感性豊かな作品を、都民の方々にご覧いただくことで、より多くの方に身近な「食」の大切さを感じていただければと思います。そして、これからも、都民一人ひとりが輝き、活力を生み続ける東京にしていくために、”明日のTOKYO“を担う中学生の皆さんが健やかに成長し、ご活躍いただけることを心から願っています。

結びに、この作文コンクールの実施に当たり、ご尽力いただきました、東京都教育委員会、一般財団法人東京私立中学高等学校協会をはじめ、多くの関係者の皆様に対しまして厚く御礼申し上げます。

令和六年一月

一般財団法人東京都人材支援事業団理事長 **武市 敬**